



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場会社名 内外トランスライン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9384 URL <http://www.ntl-naigai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常多 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 三根 英樹 (TEL) 06-6260-4800
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 平成25年9月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	7,499	15.6	470	△2.6	510	△2.1	307	△2.0
24年12月期第2四半期	6,484	4.5	483	△10.7	521	4.3	313	8.6

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 520百万円(56.7%) 24年12月期第2四半期 332百万円(14.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年12月期第2四半期	58	40	57	76
24年12月期第2四半期	59	93	59	20

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	7,746		6,061			77.5
24年12月期	7,110		5,610			78.2

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 6,001百万円 24年12月期 5,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
24年12月期	円	銭	円	銭	円	銭
	—	25.00	—	15.00	—	—
25年12月期	—	12.50	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	15.00	—	27.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、平成24年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、平成24年第2四半期末配当金は株式分割前、同期末配当金は株式分割後の配当金を記載しております。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	15,000	11.9	1,300	43.1	1,300	33.3	800	74.3	152	07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) フライングフィッシュ株式会社、除外 1社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	5,285,200株	24年12月期	5,261,000株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	405株	24年12月期	360株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	5,271,129株	24年12月期2Q	5,238,354株

(注) 当社は平成24年7月1日付で1株を2株に分割する株式分割を行っており、発行済株式数は前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して数値を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、当社は平成24年7月1日付で1株を2株に分割する株式分割を行っており、平成24年12月期第2四半期「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算出においては、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して期中平均株式を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) その他	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政策効果による円高の修正とこれに伴う輸出競争力の向上及び個人消費マインドの改善等により、景気は回復傾向が鮮明になってまいりました。

一方、当社グループ業績への影響が大きいわが国輸出においては、米国経済の堅調な成長もあって、対前年比において持ち直し傾向を示しておりますが、本格的な回復には今しばらく時間を要する状況にあります。

このような経済環境の下、当社グループは、平成25年度を最終年度とする3ヵ年の中期経営計画（「NTL Next Stage -アジアから世界へ-」）の目標である国際総合フレイトフォワードをめざし積極的な事業活動を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、平成25年6月1日付けでライニング・フィッシュ・サービス株式会社の国際複合一貫輸送事業を譲受け、当社連結子会社ライニングフィッシュ株式会社において当該事業を開始いたしました。当該事業は当社グループ中期経営計画を達成するための中核となるもので、当連結会計年度下期以降、当社グループ業績に大きく寄与するものと見込んでおります。

この結果、第2四半期連結累計期間における売上高は7,499百万円（前年同四半期比15.6%増）と増収となりましたが、営業利益は470百万円（同2.6%減）、経常利益は510百万円（同2.1%減）、四半期純利益は307百万円（同2.0%減）と利益においては、M&A及び事業立上げ費用、のれん償却費の増加を吸収し得ず、営業利益、経常利益、四半期純利益においていずれもわずかに減益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(日 本)

日本における国際貨物輸送事業につきましては、混載貨物輸出を主力としておりますが、経済環境の変化に伴い、輸出入とも混載貨物が減少した一方で、輸出入フルコンテナ貨物及び航空貨物は大きく売上を伸ばし、国内子会社ユーシーアイエアフレイトジャパン社売上も通期で寄与することとなったため、日本セグメント売上高は対前年同四半期比11.8%増となりました。

また、平成25年6月1日より、ライニングフィッシュ株式会社において譲受けた国際複合一貫輸送事業を開始しておりますが、当第2四半期連結累計期間においては、同社の日本セグメント売上高への寄与は軽微であり、事業立上げ費用等の負担もあり営業損失を計上しております。この結果、売上高は、5,276百万円と前年同四半期と比べ557百万円（11.8%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は256百万円と前年同四半期と比べ84百万円減少（24.8%減）となりました。

(海 外)

当社グループはアジア地域及び米国に9社の現地法人を有しており、これらの現地法人では日本からの貨物の取扱が主な売上高となります。なお、平成25年6月に、中国・上海において、ライニング・フィッシュ・サービス株式会社の子会社であった飛宇国際貨代（上海）有限公司を、当社100%子会社であるライニングフィッシュ株式会社が取得（100%出資）しております。

当期の海外における各現地法人の業績は、おおむね順調に業績を伸ばし、特にインド、香港、タイは売上高、利益とも大幅増加を示し、中国、韓国においても堅調に推移しております。

この結果、売上高は、2,223百万円と前年同四半期と比べ457百万円（25.9%増）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は244百万円と前年同四半期と比べ75百万円増加（44.5%増）いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,746百万円（前連結会計年度末比636百万円増加）となりました。これは主に、のれんの増加によるものであります。

負債は1,685百万円（同186百万円増加）となりました。これは主に、買掛金の増加65百万円、流動負債その他の増加111百万円等によるものであります。

また、純資産は6,061百万円（同450百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金の増加228百万円及び為替換算調整勘定の増加178百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前四半期連結会計期間末に比べ△391百万円減少し、3,036百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は133百万円(前年同四半期比221百万円減少)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益の計上510百万円による資金の増加及び仕入債務の減少113百万円、法人税等の支払223百万円による資金の減少によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、629百万円(同360百万円増加)となりました。主な内訳は、事業譲受による支出666百万円、貸付けによる支出361百万円、投資有価証券の取得による支出100百万円及び貸付金の回収による収入504百万円等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、97百万円(同125百万円減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出49百万円、配当金の支払い79百万円及び短期借入金の増加23百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、わが国の景気が順調に回復し、加えて、わが国の輸出も円高修正の継続により一段と回復へと向かうことが予想され、当連結会計年度下期における当社経営環境にも好影響を及ぼすものと見込んでおります。

このような状況を背景に、フライングフィッシュ社事業を初めとして、航空貨物輸送、輸入貨物輸送といった重点施策の推進に注力することにより、当連結会計年度目標及び最終年度となる中期経営計画の達成に向け全力を尽くす所存であります。

当連結会計年度(平成25年12月期)の業績見通しにつきましては、連結売上高15,000百万円、連結経常利益1,300百万円、連結当期純利益800百万円を見込んでおり、平成25年2月8日に公表しました通期連結業績予想の修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年2月14日付をもって、100%出資子会社フライングフィッシュ株式会社（本店 東京都港区より中央区に変更）を新規設立しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,459,203	3,036,341
受取手形及び売掛金	849,426	1,102,162
有価証券	497,968	499,315
その他	187,872	349,084
貸倒引当金	△5,984	△1,078
流動資産合計	4,988,487	4,985,825
固定資産		
有形固定資産	633,156	646,397
無形固定資産		
のれん	503,751	1,159,512
その他	54,157	46,676
無形固定資産合計	557,909	1,206,188
投資その他の資産		
その他	989,412	967,140
貸倒引当金	△58,873	△58,689
投資その他の資産合計	930,539	908,450
固定資産合計	2,121,604	2,761,036
資産合計	7,110,092	7,746,861
負債の部		
流動負債		
買掛金	761,769	826,782
短期借入金	29,892	53,625
1年内返済予定の長期借入金	18,733	208
未払法人税等	206,967	164,554
賞与引当金	4,319	11,523
その他	209,841	319,859
流動負債合計	1,231,524	1,376,552
固定負債		
長期借入金	26,505	—
退職給付引当金	107,200	147,657
その他	133,898	161,284
固定負債合計	267,605	308,941
負債合計	1,499,129	1,685,493

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	227,877	232,293
資本剰余金	217,877	222,293
利益剰余金	5,260,037	5,488,950
自己株式	△314	△377
株主資本合計	5,705,477	5,943,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,358	26,060
為替換算調整勘定	△146,792	31,867
その他の包括利益累計額合計	△142,433	57,927
少数株主持分	47,919	60,280
純資産合計	5,610,963	6,061,368
負債純資産合計	7,110,092	7,746,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,484,980	7,499,738
売上原価	4,442,810	5,271,192
売上総利益	2,042,169	2,228,545
販売費及び一般管理費	1,559,015	1,758,168
営業利益	483,154	470,376
営業外収益		
受取利息	12,924	17,155
為替差益	5,282	14,274
不動産賃貸料	12,356	10,882
過年度消費税等	11,889	—
その他	10,862	10,366
営業外収益合計	53,315	52,679
営業外費用		
支払利息	6,095	1,941
不動産賃貸費用	2,519	2,385
支払手数料	5,772	6,109
その他	1,057	2,522
営業外費用合計	15,444	12,959
経常利益	521,025	510,097
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,233
特別利益合計	—	3,233
特別損失		
固定資産除売却損	28	2,418
投資有価証券評価損	980	—
施設利用会員権売却損	142	—
特別損失合計	1,150	2,418
税金等調整前四半期純利益	519,874	510,912
法人税、住民税及び事業税	199,178	178,272
法人税等調整額	3,712	16,428
法人税等合計	202,890	194,700
少数株主損益調整前四半期純利益	316,983	316,212
少数株主利益	3,035	8,389
四半期純利益	313,947	307,822

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	316,983	316,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,286	21,701
為替換算調整勘定	7,967	182,630
その他の包括利益合計	15,254	204,332
四半期包括利益	332,238	520,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332,903	508,183
少数株主に係る四半期包括利益	△665	12,360

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	519,874	510,912
減価償却費	44,264	40,799
のれん償却額	27,207	35,617
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,098	7,025
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,327	12,792
受取利息及び受取配当金	△14,060	△18,526
支払利息	6,095	1,941
為替差損益 (△は益)	△5,971	△12,911
固定資産除売却損益 (△は益)	△77	2,414
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△3,233
投資有価証券評価損益 (△は益)	980	—
施設利用会員権売却損	142	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△45,485	△65,942
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,356	△113,797
未払費用の増減額 (△は減少)	11,362	6,095
その他の資産の増減額 (△は増加)	△87,138	△113,645
その他の負債の増減額 (△は減少)	33,403	56,535
その他	1,840	△5,230
小計	511,024	340,845
利息及び配当金の受取額	13,252	18,594
利息の支払額	△6,095	△1,941
法人税等の支払額	△163,001	△223,648
営業活動によるキャッシュ・フロー	355,179	133,850
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	63,050	—
有価証券の売却及び償還による収入	200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△16,190	△18,234
有形固定資産の売却による収入	269	84
無形固定資産の取得による支出	△540	△2,296
投資有価証券の取得による支出	△199,121	△100,000
投資有価証券の売却による収入	—	20,083
事業譲受による支出	—	△666,640
子会社株式の取得による支出	△315,985	—
貸付けによる支出	△442	△361,498
貸付金の回収による収入	100	504,430
その他	△186	△5,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	△269,048	△629,695
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△71,148	23,314
長期借入金の返済による支出	△78,066	△49,571
株式の発行による収入	5,475	8,833
配当金の支払額	△79,357	△79,125
その他	—	△871
財務活動によるキャッシュ・フロー	△223,096	△97,421
現金及び現金同等物に係る換算差額	31,634	170,403
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△105,330	△422,862
現金及び現金同等物の期首残高	3,533,300	3,459,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,427,969	3,036,341

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日 本	海 外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,719,384	1,765,595	6,484,980	—	6,484,980
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100,289	216,106	316,396	△316,396	—
計	4,819,674	1,981,702	6,801,376	△316,396	6,484,980
セグメント利益	340,494	169,570	510,065	△26,910	483,154

(注) 1. セグメント利益の調整額△26,910千円には、のれん償却額△27,207千円、及びその他調整額296千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日 本	海 外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,276,445	2,223,292	7,499,738	—	7,499,738
セグメント間の内部売上高 又は振替高	118,921	249,391	368,313	△368,313	—
計	5,395,367	2,472,684	7,868,052	△368,313	7,499,738
セグメント利益	256,154	244,979	501,134	△30,757	470,376

(注) 1. セグメント利益の調整額△30,757千円には、のれん償却額△30,894千円、及びその他調整額136千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) その他

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

- ① 事業譲受け相手先企業の名称及び事業の内容
 事業譲受け相手先企業の名称
 フライング・フィッシュ・サービス株式会社 (以下 FFS社)
 事業の内容
 国際複合一貫輸送事業
- ② 事業譲受を行った主な理由
 当社グループは、国際総合フレイトフォワードナーへの成長をめざしており、国際複合一貫輸送を得意とし、大手得意先を中心に輸入を主体とした営業基盤を確立しているFFS社事業を譲受けることとしたもの。
- ③ 事業譲受日
 平成25年6月1日
- ④ 事業結合の法的形式
 事業譲受
- ⑤ 事業を譲受けた企業の名称
 フライングフィッシュ株式会社 (当社100%子会社、以下 FF社)

なお、当該事業譲受けに付随して、FFS社100%子会社である飛宇国際貨代(上海)有限公司の株式をFF社が取得しております。(FF社100%子会社)

- (2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間
 平成25年6月1日から平成25年6月30日

- (3) 取得した事業の取得原価及びその内訳

取得の対価	FFS社事業	700,000千円
取得に直接要した費用		—
取得原価		700,000千円

- (4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

- ① 発生したのれん
 のれん
 680,142千円
 なお、のれんは取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。
- ② 発生原因
 企業結合時の時価純資産総額が取得原価を下回ったため、その差額をのれんとして認識しております。
- ③ 償却方法及び償却期間
 12年間にわたる均等償却